西日本新聞

発行所
西日本新聞社
福岡市中央区天神一丁目
4番1号（〒810－8721）
©西日本新聞社 2010年

4月1日
（木曜日）

ものづくりは演歌だ

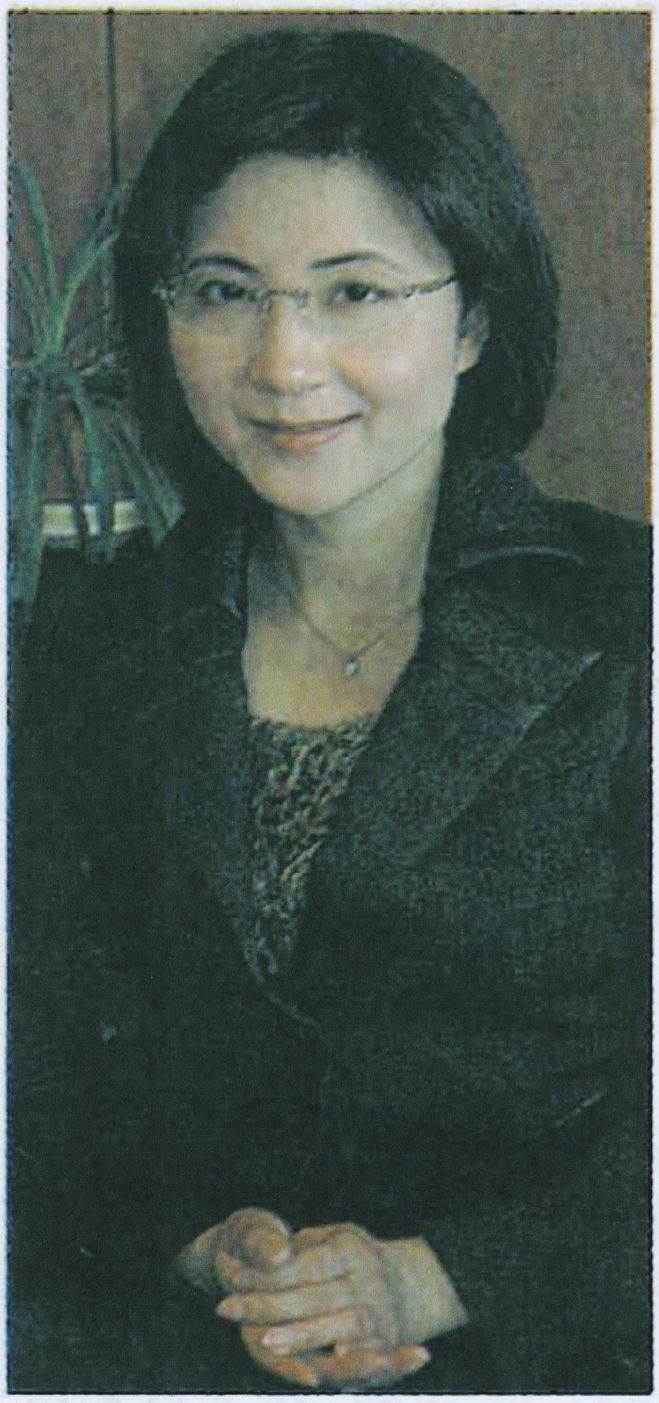
義理と人情 おとどけします

ひと

「泣きながら生きて」を企画したプロデューサー 張（ちょう） 麗玲（れいれい）さん

かなわなかった留学の夢を娘に託し日本で働く父、中国に残る母、米国留学した娘。中国人家族の10年を描き、2006年にフジ系でテレビ放送されたドキュメンタリー「泣きながら生きて」（1時間48分）が全国の映画館で上映されている。「あふれ出して耐えられない思い」から作った。自分も日本への元留学生だ。

本国では学業も家柄も「エリート」の留学生たちだが、日本では学費のためバイトに追われる。「出稼ぎ」「犯罪者」のレッテルさえ。自身もギャップに苦しみ、1カ月で10キロやせた。「血も涙も流して、ゼロからスタートする力は、どんな映画より生々しい。記録しなくては」との一心で企画、日本人スタッフらと1995年から中国人留学生と家族計315人を取材、10本にまとめた。「泣きながら生きて」の家族は「見届けたい」と追い続けた一家だった。



放映から3年後、番組に感動した日本人大学生の熱意をきっかけに映画館での上映が決まり、「多くの人に見てもらえる」と喜ぶ。九州でも3月から福岡市で公開中、4月以降は大分、鹿児島などで上映が始まる。99年に中国で放映された際も大反響を呼んだが、中には「日本を美化するな」の声も。だが「手を引くのは簡単だけど、こんなに両方の国にお世話になって愛している人は誰？　日中友好は私の使命」と言い切る。本業は、ドキュメンタリー製作が縁で就任した中国語放送「大富（だふ）」社長。中国から呼び寄せた両親と東京で3人暮らし。42歳。（大矢和世）